



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月29日

上場会社名 山崎製パン株式会社
コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	968,100	5.3	44,718	15.3	46,317	12.2	29,725	10.9
2024年12月期第3四半期	919,593	8.7	38,785	39.2	41,296	34.0	26,806	42.1

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 33,422百万円 (15.3%) 2024年12月期第3四半期 28,992百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	150.26	—
2024年12月期第3四半期	132.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	875,098	480,579	49.3
2024年12月期	865,105	460,486	47.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 431,612百万円 2024年12月期 412,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	45.00	45.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,303,000	4.7	59,000	13.7	61,500	9.2	39,000	8.3	197.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	220,282,860 株	2024年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	22,728,049 株	2024年12月期	21,401,522 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	197,820,172 株	2024年12月期3Q	202,516,151 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）におけるわが国経済は、米国の関税政策による影響が一部に見られましたものの、所得環境の改善や堅調なインバウンド需要を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当業界におきましては、物価上昇に賃金の伸びが追いつかない状況が続き、お客様の節約志向や低価格志向が続く中で、鳥インフルエンザの影響による鶏卵の高騰に加え、油脂、包材等の原材料価格の上昇や人件費、物流費等の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、人流の増加やインバウンドの増加により売上回復が続きましたものの、人件費等のコスト上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にありまして、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新しい価値の創造に取り組んでまいりました。昨年、新規技術を導入し大幅な品質改善を実現した「ダブルソフト」の技術を最大限活用し、本年1月から主力食パンの「ロイヤルブレッド」に導入するとともに、この技術を菓子パンや和菓子、洋菓子にも活用し、品質訴求による取扱拡大をはかりました。また、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者の感性を活かした高付加価値製品の開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品開発を推進し、本年1月1日出荷分から実施した、一部の食パン、菓子パン、和洋菓子製品の価格改定に際しましても、規格の充実や下支え製品の強化など丁寧に対応したこともあり、業績は好調に推移いたしました。

また、当社は引き続き、労働安全衛生管理体制の整備・充実強化を推進し、労働安全衛生推進基本会議を毎月開催して経営陣、本社各部・各工場が一体となって、夏場の従業員の熱中症対策を含めた労働安全衛生に関する問題課題の解決に取り組みました。安全日誌を活用して従業員によるチョコ停・トラブル、ヒヤリハットの情報を日次・週次・月次で管理し改善を進めるとともに、本社各部及び各工場における機械設備のリスクアセスメントによるリスクの排除・低減や、管理・監督職による日々の安全パトロールや安全教育を実施する、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をはかり、働く職場の安全安心の実現に取り組みました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトを通じて日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上につとめるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し女性製品開発担当者の感性とヤマザキの技術を最大限活用した競争力のある商品開発を推進し、お客様に喜ばれる商品づくりに取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、パン類を中心に新規技術を活用し品質向上をはかったこともあり山崎製パン(株)単体の業績が好調に推移するとともに、連結子会社の業績も好調に推移し、売上高は9,681億円（対前年同期比105.3%）、営業利益は447億18百万円（対前年同期比115.3%）、経常利益は463億17百万円（対前年同期比112.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は297億25百万円（対前年同期比110.9%）となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高899億91百万円、対前年同期比103.8%）

食パンは、前期に続き主力食パンに加え低価格食パン等にも新規技術を順次導入して品質を向上させたこともあり、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、チェーンオリジナル対応を含む低価格食パンやサンドイッチ用食パンが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高 3,594 億 72 百万円、対前年同期比 103.9%）

菓子パンは、「まるごとソーセージ」やランチパックなどの主力菓子パンが伸長するとともに、ヤマザキ菓子パンや「ずっしり」シリーズ、「ドーナツステーション」などの低価格製品が伸長しました。さらに、(株)YKベーキングカンパニーグループの売上が好調に推移したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

③和菓子部門（売上高 583 億 80 百万円、対前年同期比 106.1%）

和菓子は、主力の串団子や大福が好調に推移するとともに、新規技術を活用し品質を向上させた饅頭、中華まん、ホットケーキやどら焼、「やまざき蒸しパン」シリーズなどが伸長し、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高 1,163 億 52 百万円、対前年同期比 103.6%）

洋菓子は、「大きなツインシュー」などのシュークリームが伸長し、新規技術を活用して品質を向上させた「スペシャル」シリーズなどのスナックケーキや「ダブルロール」などのスイスロールが好調に推移するとともに、コンビニエンスストア向け製品が堅調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高 1,322 億 20 百万円、対前年同期比 110.2%）

調理パン・米飯類は、おにぎりやサンドイッチが好調に推移するとともに、(株)サンデリカにおいて主要取引先であるコンビニエンスストアチェーンとの取引が増加したことに加え、大徳食品(株)において麺の品質を向上させた調理麺が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 1,407 億 52 百万円、対前年同期比 106.0%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「ハーベスト」等、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は8,971億69百万円（対前年同期比105.2%）、営業利益は424億9百万円（対前年同期比114.2%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始し、運営・商品が一体となって、お客様のニーズに対応したオリジナル商品の開発に取り組むとともに、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した競争力のある商品開発や新規技術による冷凍生地を活用したデイリーホットの品質向上をはかりました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおける成功事例を活用し、デイリーホットを中心に収益の改善をはかるとともに、各工場と連携し売り場づくりや店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組むなど、デイリーヤマザキ1店1店の店舗収益の改善をはかりました。この結果、当第3四半期累計期間は、チェーン全店売上高が前年同期を上回り、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となるとともに、値入率の管理が進み利益も改善してまいりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 594 億 97 百万円（対前年同期比 106.2%）、営業損失は 3 億 78 百万円（前年同期は 8 億 29 百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は 114 億 33 百万円（対前年同期比 106.4%）、営業利益は 23 億 79 百万円（対前年同期比 112.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は 8,750 億 98 百万円で、前連結会計年度末に対して 99 億 93 百万円増加しました。流動資産は 3,390 億 29 百万円で、売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に対して 23 億 74 百万円減少しました。固定資産は 5,360 億 69 百万円で、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に対して 123 億 67 百万円増加しました。負債合計は 3,945 億 19 百万円で、支払手形及び買掛金や未払費用などの支払債務の減少などにより、前連結会計年度末に対して 100 億 98 百万円減少しました。純資産は 4,805 億 79 百万円で、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に対して 200 億 92 百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は 49.3%となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、米国の関税政策の影響による下振れ懸念が根強く、景気の先行きは予断を許しません。当業界におきましては、お客様の節約志向や低価格志向が続く中で、鶏卵や油脂、包材の高止まりなど原材料価格の上昇に加え、人件費や物流費などの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、新規技術を活用した品質向上や、2極化・3極化戦略によるお客様のニーズに対応した製品開発など、次期の業績向上につながる施策・戦略を推進し、新しい価値の創造に取り組んでまいります。また、2本立ての労働安全衛生管理体制の整備・充実強化をして働く職場の安全安心の実現にも取り組み、着実な業績向上をはかってまいります。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始し、運営・商品が一体となってオリジナル商品の充実強化を始めとした新しい価値の創造に取り組み、業績回復をめざしてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の業績が、新規技術を活用し品質向上をはかったことによりパン類を中心に好調に推移したことに加え、調理パン・米飯類部門や製菓部門の連結子会社も予想を上回る状況で推移したことから、2025年8月1日に公表した2025年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2025年12月期通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,293,000	百万円 57,500	百万円 59,500	百万円 38,000	円 銭 192.15
今回修正予想（B）	1,303,000	59,000	61,500	39,000	197.21
増 減 額（B－A）	10,000	1,500	2,000	1,000	
増 減 率（％）	0.8	2.6	3.4	2.6	
（参考）前連結会計年度実績 （2024年12月期）	1,244,488	51,873	56,305	36,015	178.58

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	152,443	174,524
受取手形	139	3
売掛金	140,892	110,276
商品及び製品	14,762	18,132
仕掛品	992	1,839
原材料及び貯蔵品	16,893	18,464
その他	15,589	16,097
貸倒引当金	△309	△308
流動資産合計	341,404	339,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	441,936	448,204
減価償却累計額	△325,337	△331,778
建物及び構築物（純額）	116,599	116,426
機械装置及び運搬具	596,284	608,246
減価償却累計額	△502,751	△512,890
機械装置及び運搬具（純額）	93,532	95,355
工具、器具及び備品	45,445	46,357
減価償却累計額	△36,603	△37,614
工具、器具及び備品（純額）	8,841	8,743
土地	126,078	127,122
リース資産	23,402	23,835
減価償却累計額	△15,243	△16,314
リース資産（純額）	8,158	7,520
建設仮勘定	5,385	6,637
有形固定資産合計	358,597	361,805
無形固定資産		
のれん	7,168	6,008
その他	12,029	12,045
無形固定資産合計	19,197	18,053
投資その他の資産		
投資有価証券	76,726	82,785
長期貸付金	654	534
退職給付に係る資産	33,048	37,200
繰延税金資産	9,125	8,255
その他	28,283	29,266
貸倒引当金	△1,931	△1,831
投資その他の資産合計	145,906	156,209
固定資産合計	523,701	536,069
資産合計	865,105	875,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,424	85,904
短期借入金	60,302	58,142
リース債務	3,679	3,343
未払法人税等	11,674	6,312
未払費用	42,465	37,571
賞与引当金	6,014	16,588
店舗閉鎖損失引当金	49	50
資産除去債務	30	15
その他	54,313	44,342
流動負債合計	269,953	252,270
固定負債		
長期借入金	32,373	36,564
リース債務	4,693	4,336
役員退職慰労引当金	5,938	6,028
退職給付に係る負債	74,282	76,065
資産除去債務	4,824	4,910
その他	12,552	14,344
固定負債合計	134,664	142,249
負債合計	404,618	394,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	374,629	395,404
自己株式	△51,852	△55,516
株主資本合計	343,422	360,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,534	38,822
繰延ヘッジ損益	2	0
土地再評価差額金	99	88
為替換算調整勘定	5,425	6,247
退職給付に係る調整累計額	27,665	25,917
その他の包括利益累計額合計	68,727	71,077
非支配株主持分	48,336	48,966
純資産合計	460,486	480,579
負債純資産合計	865,105	875,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	919,593	968,100
売上原価	617,099	651,096
売上総利益	302,493	317,003
販売費及び一般管理費	263,708	272,285
営業利益	38,785	44,718
営業外収益		
受取利息	340	455
受取配当金	961	1,157
固定資産賃貸収入	776	723
持分法による投資利益	720	790
雑収入	945	918
営業外収益合計	3,745	4,045
営業外費用		
支払利息	636	1,067
固定資産賃貸費用	197	206
為替差損	—	599
雑損失	399	573
営業外費用合計	1,234	2,446
経常利益	41,296	46,317
特別利益		
固定資産売却益	165	126
関係会社株式売却益	300	282
投資有価証券売却益	1,418	35
その他	157	122
特別利益合計	2,042	566
特別損失		
固定資産除売却損	1,167	1,303
減損損失	192	263
その他	167	330
特別損失合計	1,526	1,897
税金等調整前四半期純利益	41,812	44,986
法人税等	13,642	13,661
四半期純利益	28,170	31,324
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,364	1,599
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,806	29,725

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	28,170	31,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,070	3,351
為替換算調整勘定	2,710	575
退職給付に係る調整額	△861	△1,810
持分法適用会社に対する持分相当額	44	△17
その他の包括利益合計	821	2,098
四半期包括利益	28,992	33,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,068	32,075
非支配株主に係る四半期包括利益	1,923	1,347

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	86,679	—	—	86,679	—	86,679
菓子パン	346,132	—	—	346,132	—	346,132
和菓子	55,006	—	—	55,006	—	55,006
洋菓子	112,267	—	—	112,267	—	112,267
調理パン・米飯類	120,023	—	—	120,023	—	120,023
製菓・米菓・その他商品類	132,733	—	—	132,733	—	132,733
その他	—	56,001	10,593	66,594	—	66,594
顧客との契約から生じる収益	852,843	56,001	10,593	919,437	—	919,437
その他の収益	—	—	155	155	—	155
外部顧客への売上高	852,843	56,001	10,749	919,593	—	919,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,842	7,201	31,851	49,895	△49,895	—
計	863,685	63,202	42,601	969,488	△49,895	919,593
セグメント利益又は損失(△)	37,150	△ 829	2,124	38,444	340	38,785

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 340 百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	89,991	—	—	89,991	—	89,991
菓子パン	359,472	—	—	359,472	—	359,472
和菓子	58,380	—	—	58,380	—	58,380
洋菓子	116,352	—	—	116,352	—	116,352
調理パン・米飯類	132,220	—	—	132,220	—	132,220
製菓・米菓・その他商品類	140,752	—	—	140,752	—	140,752
その他	—	59,497	11,278	70,776	—	70,776
顧客との契約から生じる収益	897,169	59,497	11,278	967,945	—	967,945
その他の収益	—	—	154	154	—	154
外部顧客への売上高	897,169	59,497	11,433	968,100	—	968,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,936	6,994	36,368	55,298	△55,298	—
計	909,105	66,491	47,801	1,023,398	△55,298	968,100
セグメント利益又は損失(△)	42,409	△ 378	2,379	44,410	307	44,718

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額 307 百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,326,200株の取得を行っております。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3,663百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が55,516百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	30,581 百万円	31,730 百万円
のれんの償却額	1,265 百万円	1,230 百万円

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位: 百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	86,679	9.4%	89,991	9.3%	3,311	103.8%
	菓 子 パ ン	346,132	37.6	359,472	37.1	13,339	103.9
	和 菓 子	55,006	6.0	58,380	6.0	3,373	106.1
	洋 菓 子	112,267	12.2	116,352	12.0	4,085	103.6
	調理パン・米飯類	120,023	13.1	132,220	13.7	12,197	110.2
	製菓・米菓・その他商品類	132,733	14.4	140,752	14.6	8,018	106.0
	食 品 事 業 計	852,843	92.7	897,169	92.7	44,325	105.2
流 通 事 業		56,001	6.1	59,497	6.1	3,496	106.2
そ の 他 事 業		10,749	1.2	11,433	1.2	684	106.4
合 計		919,593	100.0	968,100	100.0	48,506	105.3

(2) 主要子会社実績

(単位: 百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家〈連結〉	77,414	83,968	6,554	8.5%	774	1,069	294	38.1%
(株)サンデリカ	79,731	89,185	9,454	11.9	2,128	3,412	1,284	60.3
(株)YKベーキングカンパニー	24,590	29,456	4,865	19.8	△ 112	616	729	—
ヤマザキビスケット(株)	25,333	26,769	1,435	5.7	1,992	2,500	508	25.5
(株)東ハト	21,588	22,543	955	4.4	1,318	1,307	△ 10	△ 0.8
(株)ヴィ・ド・フランス	21,664	21,905	240	1.1	664	960	295	44.4

(3) 2025年12月期第3四半期の単体業績 (2025年1月1日～2025年9月30日)

① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	661,574	4.1	27,830	5.9	30,483	3.9	20,996	1.2
2024年12月期第3四半期	635,426	4.8	26,270	23.4	29,352	18.0	20,750	28.1

② 単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2025年12月期第3四半期	575,418	332,756
2024年12月期	587,223	321,172

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品種別	前第3四半期 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		当第3四半期 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	80,084	12.6%	82,859	12.5%	2,775	103.5%
菓子パン	291,949	45.9	302,072	45.7	10,122	103.5
和菓子	53,805	8.5	57,200	8.6	3,395	106.3
洋菓子	84,041	13.2	87,166	13.2	3,124	103.7
調理パン・米飯類	43,282	6.8	46,858	7.1	3,576	108.3
製菓・米菓・その他商品類	38,431	6.1	39,119	5.9	688	101.8
小計	591,594	93.1	615,277	93.0	23,683	104.0
デイリーヤマザキ事業	58,946	9.3	62,312	9.4	3,365	105.7
内部消去	△ 15,114	△ 2.4	△ 16,015	△ 2.4	△ 901	—
合計	635,426	100.0	661,574	100.0	26,147	104.1

(5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	2024年 第3四半期		2025年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
		%		%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	27,073	4.6	28,180	4.6	1,106	4.1
デイリーヤマザキ事業	△ 802	△ 1.4	△ 349	△ 0.6	453	—
合計	26,270	4.1	27,830	4.2	1,560	5.9

< 山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳 >

(単位: 百万円)

	2024年 第3四半期		2025年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
		%		%			
売上総利益	183,883	31.1	190,673	31.0	6,790	3.7	売上高の増加 10,607 原材料費の増加 ▲ 728 製造労務費の増加 ▲ 1,805 製造経費の増加 ▲ 902 製造償却費の増加 ▲ 435 その他 53
販売費及び一般管理費	156,810	26.5	162,493	26.4	5,683	3.6	人件費の増加 ▲ 1,396 経費の増加 ▲ 4,130 償却費の増加 ▲ 157

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。